

# 地域子育てネットワークだより

平成30年12月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1

兵庫県企画県民部男女家庭課

電話:(078)341-7711 内線 2798

E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/network-dayori.html



## 誰もが安心して子育てできる社会へ



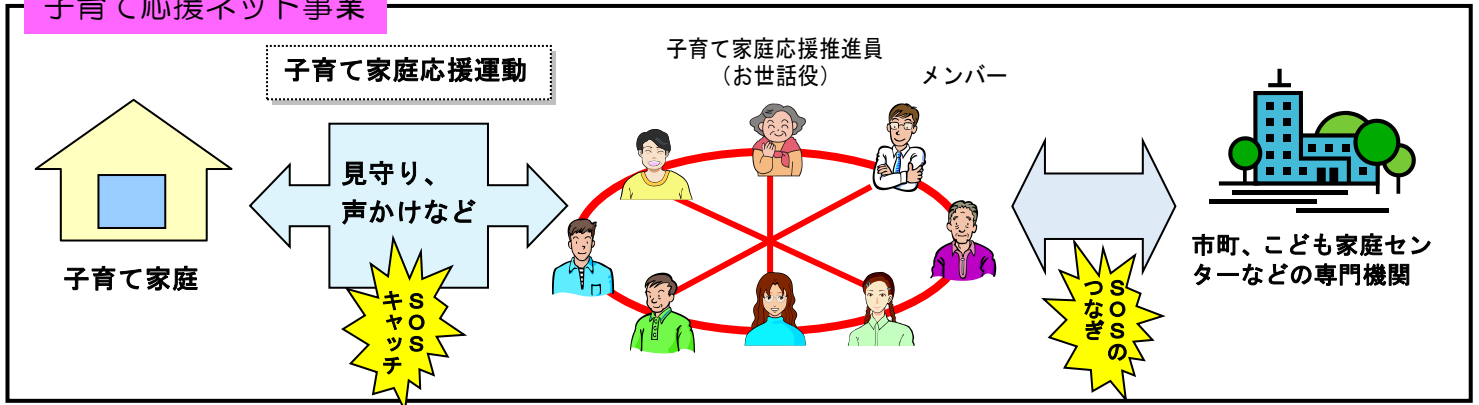
子どもを取り巻く環境への不安が増大している今日、より一層の子どもの安全確保のためには、家庭・学校での安全対策はもとより、それらを取り巻く地域が一体となって子どもを見守っていかねばなりません。

県では子育て応援ネット事業として、兵庫県地域女性団体ネットワーク会議構成団体（17団体）や、自治会、青少年関係団体、子ども会、PTA等の地域団体がネットワークを組み、子育て家庭への見守り、声かけ、子育て相談、イベント、登下校時のパトロールなどを行う子育て家庭応援運動を展開しています。

また、子育て家庭の親子のSOSを子育て家庭応援推進員や活動に賛同するメンバーが受け止め、市町やこども家庭センター、民生・児童委員、警察署等の関係機関へ連絡する取り組みなどを行っています。

【問い合わせ先】兵庫県男女家庭課 TEL: 078-362-4185

### 子育て応援ネット事業

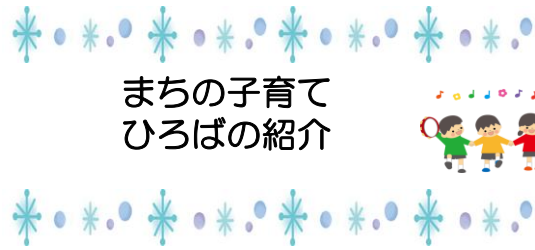


### 電話相談窓口

区分	相談窓口	電話番号	区分	窓口	電話番号
児童虐待相談 (通告・相談)	児童虐待防止 24 時間ホットライン		子育て 応援ネット	神戸県民センター 県民課	078-382-8249
	中央こども家庭センター	078-921-9119		阪神南県民センター県民・産業振興課	06-6481-4629
	西宮こども家庭センター	0798-74-9119		阪神北県民局 県民課	0797-83-3154
	川西こども家庭センター	072-759-7799		東播磨県民局 県民課	079-421-9290
	姫路こども家庭センター	079-294-9119		北播磨県民局 県民・商工観光課	0795-42-9350
	豊岡こども家庭センター	0796-22-9119		中播磨県民センター 県民課	079-281-9197
	神戸市こども家庭センター	078-382-2525		西播磨県民局 県民活動支援課	0791-58-2341
	【夜間等】	078-382-1900		但馬県民局 協働推進課	0796-26-3647
	児童相談所全国共通ダイヤル (管轄のこども家庭センターに転送)	189		丹波県民局 県民課	0795-73-0690
				淡路県民局 県民・商工労政課	0799-26-2048

## 子育て 応援ネットの 活動紹介

声かけ・見守り活動  
などで子育て家庭を  
応援する「子育て  
応援ネット」の各地  
の取り組みを紹介  
します。



## まちの子育て ひろばの紹介



朝来市では、市民が親子の絆を深め、自信を持って楽しく子育てができるよう、子育て学習センターを開設し、様々な活動や機会を提供しています。

子育てをする上での悩み相談、親子でのふれあいや仲間づくり、情報交換、年齢別親子グループ活動、季節の行事、地域との交流、子育て講座等1年を通して行っています。

また、市内4つの子育て学習センターが協力して、年に1~2回、交流会を行っています。

今年度は、『ほるぷ絵本館』の星野先生をお招きして親子で積み木とボール遊びを開催し、約40組の親子に参加していただきました。

今後も地域を超えた親子の交流を通して、さらに仲間づくりの輪を広げて行きたいと思っています。

朝来市子育て学習センター  
朝来市両親教育インストラクター 村尾 優子



西宮市の子育てサークル『こだま』は平成28年に発足しました。

同年に行われた西宮市立子育て総合センターの「ほめて子育てしようかい」という講座をきっかけに成長や発達がゆるやかな子どもを持つ親達を知り合い、集まりました。

講義を受けたりグループワークをしたりして約2ヶ月に渡って共に学びました。

やがて、講座を修了してからも、子どもの発達や成長をお互いに見守りながら、情報交換したりする場として『こだま』が誕生しました。今では月に一度、集まって近況を報告し合ったり、親子で楽しく暮らすためのアイデアを出し合ったりしています。これからもお互いに助け合いながら、明るく楽しく地域や家庭で生活できるように活動していきたいと思っています。

「こだま」  
代表 森山 愛



## スマホ社会での子育て

連載  
第137回

県立こども病院名誉院長 中村 肇

育児不安をスマホ検索で解消し、スマホの読み聞かせ絵本で育てられた子どもたちが、もう小学生になります。算数、国語などのスマホ教材で学習の手助けを受けている子どもも少なくありません。その一方で、2017年度の厚生労働省の調査では、高校生の16.0%、中学生の12.4%がネット依存と言われ、またネット依存の低年齢化がどんどん進んでいます。

中1の女の子の半数以上がスマホを持ち、LINE(SNS)が友達との交流における必須アイテムになっています。何しろ、書き込めば瞬時に相手に伝わり、数秒もしないうちに返事が戻ってきます。利用の仕方ですぐ相手に傷つけ、いじめから自殺へと追い込むこともあります。ツイッターやインスタグラムでは、友達仲間だけでなく、不特定多数の人々に自分の情報が発信されるので、思わぬ災難に出会うこともあります。

子どもが親から離れてSNSを始める前に、家庭や学校でスマホの正しい使い方とリスクをしっかりと教えておくことが大切です。